

## 血統情報2

### ・ノーザンメテオ系

ノーザンメテオを知っている方! さてはなかなかの血統マニアですね? Encosta de Lago の後継として期待されたものの早世した伝説の種牡馬で、残した4世代から21頭のステークス勝ち馬を出しました。

後継種牡馬はズースターとディープフィールドの2頭で特にズースター産駒は2歳戦から活躍し何頭も種牡馬入りしています。

特にデインヒル肌との相性が良いのが売りで産駒も良い形が出るものが多いらしく昔から人気があります。

Encosta de Lago の他のラインとしては、Rubick がジエベレスト馬の YesYesYes を排出し、両者ともに種牡馬として多くの種付けを行っています。

### ・Written Tycoon 系

今一番勢いのある系統は間違いなくリトゥンタイクーン系でしょう。

Try My Best から繋がってきた系統で、Written Tycoon が大きく成功を収めました。2歳から古馬まで幅広く活躍馬を出し、近年リーディングトップ10によく入っていたんですが、2020/21シーズンに大爆発します。本馬がリーディングサイアーに輝くと、後継種牡馬のキャピタリストが2歳リーディングで2位にランクイン。一気にトップサイアーになりました。これから続々と有力な後継種牡馬がデビューすることもあって、10年後にはリトゥンタイクーン王国といわれているかも知れませんね!

### ・Lonhro 系

主流血統かと言われるとそうでもありませんが、土着血統として一番有名なのはこのラインだと思うので紹介します。4代父は南半球のノーザンダンサーといわれたサートリストラム。そこから一子相伝でザビール・オクタゴナル・ロンロと超大物を排出してきました。そのLonhroも2012年に2歳3冠馬のPierro という大物の後継を出すことに成功しました。

この系統はPierro が異例なだけで基本的に3歳以降に活躍馬が多い晩成型でPierro 産駒も3歳以降の馬が多い印象です。

ちなみに近年Pierro はPierata という後継種牡馬をだし初年度に150頭以上の繁殖を集めています。ただこのPierata の現役時代の成績は古馬G1 1勝のみなのでもう1頭超大物が欲しいところですね。

個人的に1番大好きで応援しているラインです。

他にはMore than Ready も有名ですね。この馬はどちらかというとも母父としての活躍が多いです。

それ以外でもマイナー血統が多くとても魅力的で楽しいのでぜひ調べてみてください。

## 日本血統馬の状況

近年のアドマイヤラクティやリアルインパクト、リスグラシューやメールドグラスなど日本馬がオーストラリアにて活躍する機会が増えてきました。それと同時に日本からシャトルする種牡馬も多くいて、日本血統の活躍も著しいですね。ここからはその辺について話したいと思います。

ごく直近ではモーリス産駒のHitotsu がヴィクトリアダービー、オーストラリアンギニー、オーストラリアンダービーとG1で快進撃を続けています。一見オーストラリアのダービーを勝つなんて凄いことですよ! モーリスの評価も凄いことになっているんでしょうか?

### ・Hitotsu の評価

まずHitotsu が勝った3つのレースは3歳限定戦で順に2500m,1600m,2400mです。オーストラリアには主要な各州にダービーがありその中でも一番格が高いのは唯一春に行われるヴィクトリアダービーといわれています。他の2競走も3歳限定戦の中で人気ある部類のレースで、ここまでの戦績を総括していえば“3歳限定戦において近年最高の成績を収めている牡馬”という評価で差し支えないです。

個人的に面白いと思うのが、Hitotsu はヴィクトリアダービーの前走がコーフィールドダービー(5着)でその前走が未勝利戦(1)なんですが、その未勝利戦はカントリー開催なんですよ。結構勇気のいるオペレーションです。

逆に言えば未勝利勝ちのみでもG1に出られてしまうんですよ。3歳限定の中長距離はさほどレベルが高いとはいえないのも事実です。

### ・モーリスの評価

さて、Hitotsu を出し大活躍のモーリス。過去から今に至って最も成功している日本のシャトル種牡馬ですし、実際現地のトップ種牡馬と遜色ない成績も残しています。

現地の評価も年々高くなってきています。しかし超トップクラス級の評価を受けているかというところでもありません。なかなか2歳から使える馬が少ないのがネックになっています。現にHitotsu がヴィクトリアダービーを勝ってから主要なセリが何回も行われていますが、モーリス産駒の平均落札額は全体の平均落札額を下回っています。(ただ3歳以降の種牡馬の中ではほぼトップクラスの価格をつけています! 早熟血統価格が異常です)

### ・追い風!?

ここ数年セリもバブルで主流血統馬の価格が異様に上がり並の馬主では手が出なくなってしまいました。そのせいもあってか中長距離血統の人気も徐々に高まってきているみたいです。3歳中長距離はまだ海外からの移籍馬も少ないですし狙い目なんですよ。他の日本馬含め期待できる傾向です。

### ・Tagaloo

個人的にG13勝のフィアースインパクトやヒトツ以上に評価したいのはロードカナロア産駒で2020年ブルーダイヤモンドSを制したタガロアです! トッドマン2着,ゴールデンスリッパ4着も非常に素晴らしいですね! まさか日本血統馬でオーストラリアの2歳G1を勝つなんて…マルシュロレーヌと同じかそれ以上の衝撃を受けました。さらに母父ハーツクライでまさかのダンジグフリーですから種牡馬としての今後が楽しみです。